

三内丸山通信

発掘調査進行中！

三内丸山遺跡では、遺跡の全体像や集落の移り変わりを把握するため、毎年発掘調査を行っています。今年度は、主に西盛土北西側の調査を行います。

昨年度の第三十八次発掘調査では、竪穴建物跡や道路跡、溝状遺構、土坑墓などが確認されました。

中でも調査区の南西から北東方向にかけて、直線状に約二十四メートル延びる幅四メートルの大規模な溝状遺構は、全国的にも例がない貴重な遺構です。詳しく調査した場所では、しっかりとした掘り込みがあり、底面は北東方

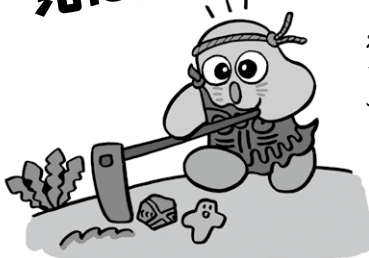
向に緩やかに傾斜して下がっています。一番高いところと低いところの差は約一・四メートルにもなります。溝の中の土からは、約五千年前の円筒下層 d 式土器が出土しており、その時期には、溝が埋まってしまったと考えられます。今年度の調査では、溝状遺構の全体の形や使われ方などを明らかにすることを目指しています。

また、竪穴建物跡は火事にあつた可能性があるため、さらに詳しく調査を行います。

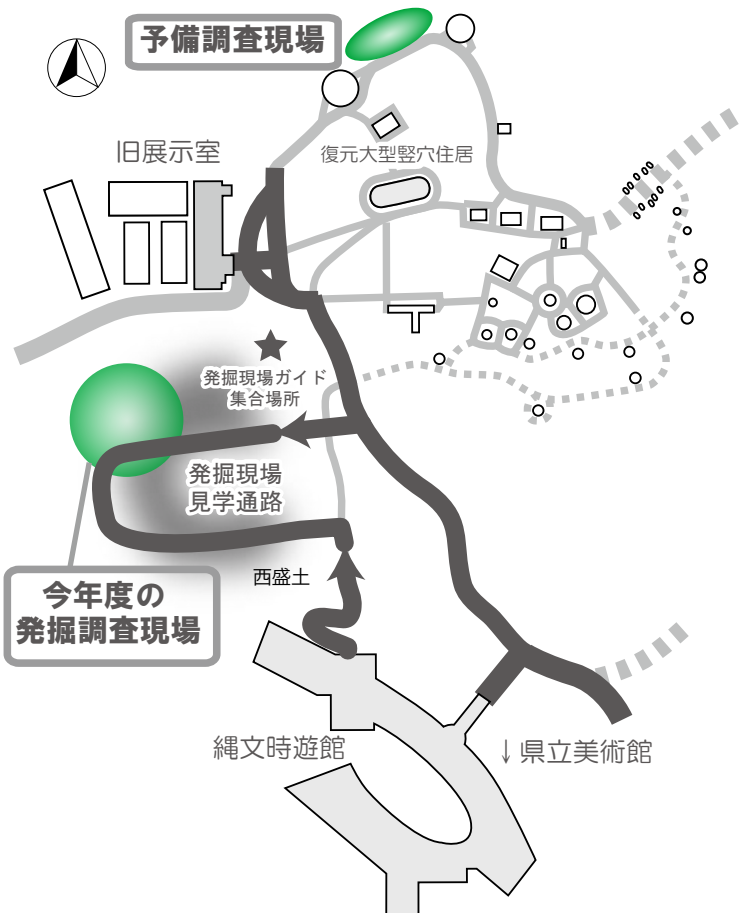
遺跡西側の丘陵部は、平

成二十一年度から継続して調査していますが、今年度で終了する予定です。これまで、西盛土の範囲、形成年代や形成過程、盛土の南西側の土地利用の移り変わりなど、様々なことが明らかになりました。今年度の調査で、より具体的な当時の様相が明らかになることが予想されます。

発掘現場
見に来てね！



【今年度発掘調査現場の位置】



【現場公開のお知らせ】

【現場公開】月曜日～金曜日（8 月下旬まで）

※土・日・祝日、8 月 10～14 日は休み。

雨天等により公開中止の場合あり。

【公開時間】午前 9 時～午後 5 時

※昼休み（正午～午後 1 時）は公開していません。

【発掘現場ガイド日時】現場公開実施日

※午前 11 時集合（約 20 分）

※集合場所 西盛土入口付近

米大使が訪問！

六月十日に、キャロライン・ケネディ米国駐日大使が視察に来られました。

大使は発掘調査開始式に立ち寄られ、調査に従事するスタッフ一人一人に激励のお言葉を述べられました。青山副知事、中村教育長、岡田文化財保護課長と共に遺跡を視察され、六本柱の大型建物や大型住居の復元などを大変興味深く見学していました。また室内作業場では、遺物整理スタッフを激励され、円筒土器を

縄文バーチャル体験

三内丸山遺跡の価値を分かりやすく伝えるため、タブレット端末で映像、画像、音声を使い解説するシステムを新たに開発しました。端末を持って遺跡を歩くと、バーチャル・リアリティによって、四千五百年前の縄文時代の風景を見ることが出来ます。

さんまるミュージアムでは、端末を操作すると主要な出土品の解説が受けられます。タッチして土器や土偶をくるくる回して上や後ろから見たり、拡大して細



【タブレットの土器をタッチ！】

部を見ることが出来ます。現在、運用開始に向けて準備中です。詳細が決まりましたらホームページなどでお知らせしますので、楽しみにお待ちください。



【ケネディ大使が発掘調査の作業員を応援してくれました】

手にしながら数千年前の縄文時代に思いをはせられている様子でした。

第 38 次調査最新情報展

— 新発見！溝状遺構 —

場所：さんまるミュージアム企画展コーナー

期間：8月30日まで

昨年度の発掘調査で、西盛土西側と北端部から出土した土器や石器、土製品などを展示しています。また、

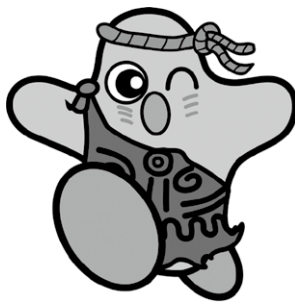


新聞などでも話題になった幅約4mの大規模な溝状遺構について、出土品と一緒に理化学分析の結果も紹介しています。みなさまのお越しをお待ちしています。



【さんまる宝さがしウォーキング】
～弓矢で狩り体験～

楽しかったよ！



五月二日～五日、縄文春まつりを開催しました。好天にも恵まれ、四日間で一万五千人以上の方にご来場いただきました。

狩りや釣りなどの体験をしながら遺跡を歩く「さんまる宝さがしウォーキング」や、縄文服で記念撮影ができる「縄文ファッションで記念撮影」、復元大型掘立柱建物の高さから遺跡を眺めることができる「縄文パノラマビュー」など、いろいろなイベントを開催しました。

縄文春まつり開催！

夏まつりのお知らせ

三内丸山遺跡では、季節ごとにお祭りを開催しています。八月十五・十六日には縄文夏まつりを、八月二十九・三十日には縄文大祭典を行います。今回もさまざまなイベントを予定しています。詳しい内容が決まりましたら、ホームページなどでお知らせしますのでお楽しみに！

さんまるで縄文を学ぼう！

【さんまる縄文体験】

今年度も、さんまる縄文体験を行っています。五月十六日には「黒曜石で矢じりを作ろう」を開催しました。

黒曜石の原石を割って取った素材を加工して矢じりの形に仕上げました。参加した方たちは、どうすれば矢じりが作れるのかを学びながら体験していました。十一月には「縄



【縄文パノラマビュー】

文料理をしてみよう」を開催します。土器や石器を使った、縄文時代の調理を体験できますので、ぜひお申し込みください。

【ギャラリートーク】

さんまるミュージアムでは、十一月までの毎週日曜日、午後二時半からギャラリートークを行っています。

三内丸山遺跡から出土した土器や石器、土偶、木製品について、テーマごとに専門職員がわかりやすく解説します。所要時間は二十分ほどです。

縄文体験・ギャラリートークの詳細については、三内丸山遺跡ホームページをご覧ください。

☆三内丸山遺跡のご案内☆

休館日 12月30日～1月1日
見学料 無料

開館時間
10月～5月は9時～17時
6月～9月は9時～18時
(入場は閉館の30分前まで)

さんまるミュージアムの定時案内
10時30分～、13時30分～の2回行っています
(所要時間約20分)

ボランティアガイドの定時案内
1回目は9時15分から
その後は10時から1時間ごと、最後は16時から
(所要時間：約50分)

見学のお問い合わせ先：017-766-8282 (三内丸山応援隊)

ギャラリートークのご案内

さんまるミュージアム内で行っています
5月～11月の毎週日曜日 (所要時間：約20分)
14:30～ ※8/2・9・16・30、9/6、11/8はお休みです
当課専門職員による解説です

お問い合わせ先：017-781-6078 (縄文時遊館)

交通機関

□青森市営バス
JR 青森駅から⑥番乗り場「三内丸山遺跡」行き
三内丸山遺跡前で下車 料金 310 円 約 30 分
□ねぶたん号
JR 新青森駅南口から左回り乗車
三内丸山遺跡前で下車 料金 200 円 約 10 分



【わくわくガイド】
(小学校低学年編)



【どきどきタイムトリップ】
(小学校高学年編)

「青森県の縄文遺跡群」ホームページアドレス

http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/culture/aomori_jomon.html



ガイドブック「縄文あおもり」の閲覧・ダウンロードや、縄文あおもりカレンダーの原画応募についてはこちらのホームページをご覧ください。

わたしたちの暮らす青森県には、たくさんさんの縄文遺跡があります。ガイドブック「縄文あおもり」では、世界に誇る縄文文化の価値や魅力を伝えるため、人びとの暮らしや文化、世界遺産登録をめざす本県の縄文遺跡群を紹介しています。

ガイドブックを片手に、ぜひ、お近くの縄文遺跡へお出かけください。

また、県教育委員会では、縄文遺跡群をPRする「縄文あおもりカレンダー」の原画を募集します。みなさんが感じる縄文の魅力やロマンを表現してみませんか。たくさんのご応募をお待ちしています。

わくわく～どきどき～縄文あおもり！